

会議録（１）

会議の名称	飯能市児童福祉審議会
開催日時	平成31年3月13日（水） 開会 午後1時30分 閉会 午後2時50分
開催場所	飯能市役所本庁舎別館2階 会議室1
会長氏名	細田 ヨリ子
出席委員	森田 明美 西川 達男 長棹 美枝子 和田 里美 田中 久美子 宮崎 哲男 小林 宏樹 竹内 章浩
欠席委員	木村 莉沙
説明者の職氏名	健康福祉部長 島田 茂 子育て支援課長 五十川 美也子 子育て支援課 主幹 横田 有司 主幹 山川 佳織 主査 梶田 政康 保育課長 根岸 隆 保育課 主幹 山岸 絵里子 主査 浅見 洋 第二区保育所上席所長 原部 美由紀 原市場保育所上席所長 浅見 和恵 東洋大学人間科学総合研究所 社会福祉士 勝部 雅史
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙のとおり
配付資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	子育て支援課 課長 五十川 美也子 主幹 横田 有司 主幹 山川 佳織 主査 梶田 政康

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

4 議 事

（１）子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について

配付資料に基づき説明者から説明を行った後、質疑を行うとともに意見を
受けた。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	ただいまから、平成30年度第4回飯能市児童福祉審議会を開会します。
事務局	続きまして、細田会長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。
会長	（挨拶）
事務局	ありがとうございました。続きまして、大久保飯能市長よりご挨拶を申し上げます。
市長	（挨拶）
事務局	ありがとうございました。 なお、市長は公務のためここで退席させていただきます。
	（市長退席）
事務局	次に、本日出席している職員を紹介いたします。
	（職員 自己紹介）
事務局	子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査業務の受託者であり、本日報告書の説明をしていただく東洋大学の勝部雅史社会福祉士を紹介いたします。
	（勝部雅史社会福祉士 自己紹介）
事務局	議事に入る前に、本日の委員の出席状況を報告いたします。 ただいま、委員定数10名に対し、9名の出席をいただいています。木村委員につきましては、欠席する旨の連絡を受けています。

	<p>飯能市児童福祉審議会条例第6条第2項の規定による2分の1以上の委員の出席がありますので、本日の審議会は成立いたします。また、本日の審議会は公開となっています。</p> <p>それでは、次第4の議事に入ります。議長は、条例の規定によりまして細田会長をお願いいたします。</p>
議長	<p>はじめに現在傍聴の希望はありませんが、議事の途中で傍聴の希望がありましたら、傍聴人の入室を許可いたします。</p> <p>それでは、議事(1)子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査についてを議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
子育て支援課長	<p>子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査業務について、概要説明を行った。</p>
勝部社会福祉士	<p>乳幼児保護者調査・小学生保護者調査結果報告書、小学生調査・中学生調査結果報告書及び提言メモに基づき、詳細説明を行った。</p>
議長	<p>説明は以上です。委員の皆様から質問、意見はございますか。</p>
森田委員	<p>乳幼児保護者調査について、4ページの「保護者の就労状況」で母親の33.6%が正社員で働き、パート・アルバイトを含めると66.0%が就労している結果が出ました。これは、2009年の前々回調査の35.7%と比較すると、約2倍の伸びであり、当時3分の1の母親が就労していた環境が現在は3分の2になっている状況です。今後は地区別の集計もしていきたいと思えます。また、3ページの「子育てについて困ったことや悩んだこと」では、育て方・しつけが54.2%、仕事との両立が48.3%、子どもの健康や身体が43.3%と増加しています。一方、これまで取組を進めてきた「遊び場」は減少しているので、成果が表れていると感じています。調査結果から、身近な支援が行き届いていない中で就労する人が増えてきている状況が伺えると思えますが、各委員の現場において心当たりのあるお話を聞かせていただけたらと思えます。</p>

長棹職務代理	幼稚園では、育て方・しつけに自信が持てないという方は多いと思います。
森田委員	未就園児の保護者が利用する地域子育て支援拠点ではどうですか。
長棹職務代理	地域子育て支援拠点「のびのび〜の」を利用する方については、育て方・しつけに不安を持っている方の他、叱り方が分からないという方も多いです。
和田委員	保育園ではひとり親家庭も多く、子どもはもちろんですが保護者を支えていかないとその家庭自体が立ち行かない状況があります。そのため、常に子育て支援課、子育て総合センター等と連携しながらその家庭を支援しています。
森田委員	「病気の時の対応」の調査結果について、母親の就労が進んでいる中でその負担が増えている状況が伺えるのですが、親族等の支援者が減っているということなのでしょうか。
和田委員	祖父母が近くにいる方もいますが、まだ仕事をしていることから頻繁にはお願いできない状況はあります。
田中委員	地域子育て支援拠点では、相談の日を設ける必要があるほど相談したい方が多い状況です。今はインターネットから情報を得ている方が多く、その情報も多いために惑わされている状況があります。
西川委員	児童相談所でも育て方やしつけについての電話を受けますが、「今泣いている状況をどうしたら泣き止むか」とノウハウを求めている方は多いです。核家族化等の影響により、以前であれば解決できていたことが問題になっていることもあると思います。
森田委員	小林委員にお聞きしたいのですが、就労者の働き方という点

	では、以前と比べて変わってきているところがありますか。
小林委員	ここ 10 年位では様々な社会構造の変化があったため、必然的にこのような調査結果が出てくるということはあると思います。近年は働き方改革ということで一律にルールを設けることも進んでいますが、家庭ごとの状況に応じた施策も重要であり、これを予算と人を掛けてどのタイミングで実施していくかという課題はあると思います。
森田委員	小学生・中学生調査については、これほど長期間に継続して行っている自治体は全国にないと思いますので、大変貴重な資料になります。小学生調査では、「困ったとき助けてくれる人」でクラスの友だちが 78.5%、小学校の友だちが 45.3%と高い数値が出ていることと、学校の先生も 34.8%と増加していることから、学校が大変頑張っている状況が分かります。しかしながら、「学校が楽しくないときの相談相手」では相談しなかった・しなくなかったが 44.7%で高く、「学校が楽しくない理由」では学校以外のところに行きたい、なんとなくが共に 34.2%と高い数値が出ており、こちらは気になる場所です。中学生調査では、「困った時に助けてくれる人」で学校の先生が 27.6%と前回調査からは約 10%増加しています。一方、9 ページの「学校が楽しくない理由」では、友だちとうまくいかないが 54.8%と半数を超えている状況です。
宮崎委員	大変貴重な資料であると思いますので、それぞれの課題について施策への反映を進めてもらいたいと思います。
竹内委員	中学生の親の立場から、やはり中学生にとって友だちの存在は大きいと感じます。
森田委員	調査には、自由記述もありますので報告書にはすべてまとめていきたいと考えています。
長棹職務代理	自己肯定感について、「自分のことが好きだ」という子ども

	<p>が少ないかなと感じています。幼稚園では、以前は離婚をする家庭はなかったのですが、今は年に1~2件あってそのようなことが子どもに影響を与えているのではないかと思います。</p>
森田委員	<p>他の自治体と比較すると、自己肯定感では小学生調査で飯能市は少し低い状況はあるかと思えます。この質問は保護者調査にもありまして、ほぼ同様の数値が出てくる傾向です。</p> <p>また、飯能市は市域が広いために調査結果も地域性が出てきています。そのような点も計画に反映していく必要があると考えます。</p>
議長	<p>他に質問は、ございますでしょうか。</p> <p>(質問なし)</p>
議長	<p>それでは、議事(1) 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査については以上といたします。</p> <p>本日予定されている議事は終了しましたので、これにて議長の任を解かせていただきます。</p> <p>事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>細田会長、これまで議事進行ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第5の報告事項に移ります。</p>
保育課長	<p>(放課後児童クラブについて)</p> <p>(認定こども園について)</p> <p>(民間保育園について)</p> <p>(公立保育所保育士処遇改善について)</p>
子育て支援課長	<p>(あずけあっこ なかまーにゃの取組について)</p> <p>田中委員 詳細説明</p> <p>(保育所コンサルティングについて)</p>
事務局	<p>(事務局より連絡事項)</p>

事務局	本日の予定は、以上をもちましてすべて終了でございます。
	ご協力ありがとうございました。
	これもちまして平成30年度第4回飯能市児童福祉審議会
	を閉会いたします。ありがとうございました。

議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

平成 年 月 日

議長の署名 _____